謹賀新年

本年も皆様に愛される医療・介護施設を目指し、努力してまいります。すばらしい一年でありますようお祈り申し上げます。

雄仁会職員一同

医療法人雄仁会・社会福祉法人雄仁会　求人のご案内

雄仁会の各施設では、資格をお持ちの方、経験のある方はもちろん、看護や介護の経験や資格のない方も歓迎します。パート勤務も可能です。お近くのハローワーク又は病院事務部にご遠慮なくご相談ください。応募される前に病院見学も行っています。

〇職種【必要な免許・資格】

（１）正看護師【看護師】
（２）准看護師【准看護師】
（３）看護助手【不問（免許・資格は不要）】
（４）介護職（介護福祉士・通所サービス）【介護福祉士】
（５）介護職（通所サービス）【不問（免許・資格は不要）】
（６）介護支援専門員　（ケアマネージャー）【介護支援専門員（ケアマネージャー）】

医療法人　雄仁会　加藤病院
〒878-0013
大分県竹田市竹田１８５５番地
☎０９７４－６３－２３３８

社会福祉法人　雄仁会
〒878-0026
大分県竹田市大字飛田川1618-23
☎０９７４－６３－３３２３

ホームページ http://yuujinkai.com/

編集後記

今回も多くの方にご助力をいただきながら広報誌を発行することが出来ました。
感謝を申し上げると共に今後も皆様のお役に立てる様な充実した内容をお届けしたいと考えています。
季節の変わり目は何かと体調を崩しやすいものです。
皆様も体調管理には十分お気をつけ下さい。

医療法人
社会福祉法人 雄仁会

令和４年１月
新春号

広報誌 ゆうじんかい

基本理念　安全 ● 信頼 ● 満足

TOPICS

理事長挨拶

理事長　加藤一郎

明けましておめでとうございます。２０２２年、令和４年寅年です。令和２年から３年は新型コロナウィルス感染症に翻弄され続けました。オリンピックも開催中止かと思われましたが、無観客という異例の大会になりました。困難な状況でも多くの感動がありスポーツの凄さを感じました。皆様も拡大防止のため日常生活まで制限されて大変な思いをされているとお察しいたします。

私ども雄仁会も同様にコロナ感染防止対策に全力を注いでいます。コロナ感染拡大の知らせと同時に、加藤病院院長と内科診療部長を先頭に感染対策委員会を随時開催して感染防止の実施を開始しました。雄仁会では加藤病院２１２床、岡の苑６８床、和の郷９床、こころの郷２９床、木もれ陽４６床と、外来、通所、ご家族、お見舞い、付き添い、関係企業等すべての方々に感染防止をお願いするとともに、職員は家族親戚を含め対策を徹底しています。ワクチン接種は２回完了して、本年１月より３回目のブースター接種を実施します。皆様のご協力により関係者の感染はゼロです。

昨年末には感染者数が減少して収束の期待もありましたが、新たなオミクロン株の発生、感染拡大で、緊張が続いています。今後とも皆様にはマスク着用、体温測定、体調確認、面会の制限等いろいろとご不便をおかけしますが、ご理解の上ご協力をお願いいたします。

雄仁会は今年創立７１周年となります。昨年が７０周年で記念行事を予定しましたが、コロナ感染防止のため開催を断念しました。昭和２６年９月５日先代の加藤一雄院長がこの地に２０床の精神科病院を開設しました。そして昭和６３年に現院長が就任し増床、増築、増設を経て現在の医療法人、社会福祉法人となりました。安全・信頼・満足を基本理念に、地域のためを思い続け、皆様に役立つ雄仁会をめざしています。

日本の少子高齢化は大きな社会問題となっています。この竹田市、豊後大野市では更に深刻な状態に向かっています。コロナ感染防止で、密を避けるという生活様式、価値観の変化が起こっています。大都会集中の人口移動が減少したようです。テレワークの推進も地方の見直しになるかもしれません。その中で最も重要なことは医療・介護・福祉の充実だと思います。心の相談、少子高齢化の対応に必要とされる、頼りになる雄仁会としてこれからもがんばっていきます。

本年は寅年です。新型コロナに負けずに、力強く前進しましょう。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。よろしくお願いいたします。

イベント・行事紹介

【認知症疾患医療センター】
認知症疾患医療センターでは、子どもの頃から認知症について学んでもらう為、竹田市内の小学校で、認知症キッズサポーター養成講座を実施しています。認知症の講話と共に、子どもにも分かりやすいよう寸劇を取り入れ、少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しています。

【精神科デイ・ナイト・ケア】
「バスハイク　わさだタウン」
10月、精神科デイナイトケア(ステップハウス)では、コロナ禍の為、中止となっていたバスハイクに約2年振りに出かけました。久々の遠方への外出でしたが、皆、買い物や食事など思い思いに過ごし、大変楽しく過ごせました。今後も様々な社会参加の機会を提供し、地域でその人らしく生活出来る一助として、デイケアが機能出来たらと思います。

【オレンジハウス】「オレンジハウスXmasお楽しみ会」
令和３年１２月２３日、オレンジハウスでは、クリスマス会、忘年会を兼ねてのお楽しみ会を実施いたしました。レクリエーションや抽選会の後に、参加された皆さんでクリスマスケーキを堪能しました。コロナ禍で大変な一年でしたが、来年につながるような楽しい一日を過ごせたことと思います。

【介護老人保健施設　岡の苑】
介護老人保健施設 岡の苑では年間を通して毎月行事を行っています。
特に季節行事では春の屋外散策から夏祭り、運動会、クリスマス演芸会と大イベントを行っています。日々のリハビリ活動だけでなく、生活の一部として利用者の方々をサポートしながら職員と一緒に行事へ参加し、楽しんで頂けるよう企画し行っています。
コロナ禍でバスに乗っての外出行事（花公園）も２年ほど中止となっています。皆さんが一番楽しみにしている企画なので、来年度は外出行事が出来る事を願いたいです。

【グループホーム和の郷】
和の郷の横に菜園があり夏にはトマトやキュウリ等を、秋にはさつま芋を収穫します。この日は「芋ほり大会」を行い、土の感触を楽しみながら皆さん慣れた手つきで掘ってゆきました。収穫したお芋は、夕食に天ぷらやさつま汁にして頂き、秋の味覚を楽しみましたよ。

【特別養護老人ホーム　こころの郷】
10月17日、特別養護老人ホームこころの郷では、入居者の風船バレー大会が行われました。コロナ禍で外出や散歩ができなかったので、ハチマキをキリッと絞め、風船を取り合う様子は、子供時代に帰っているような大声と体の動きでした。「又やりたい」と名残惜しそうな秋の一日でした。

連携機関・施設のご紹介

「社会福祉法人やまなみ福祉会」は、久住連山、阿蘇・祖母のやまなみを一望に見渡せるすばらしい場所にあります。ここでは、障がいのある方が仕事を通して社会とふれあい自分自身のスキルアップを目指す施設として多くの方にご利用いただいています。

当法人は2か所の通所型施設があり、1か所は「障がい者サポートセンターやまなみ」で就労継続支援B型事業、2か所目はその隣地に位置する多機能型事業所として「ハートピアきむれ」で就労継続支援B型事業、生活訓練事業、相談支援事業を開設し併せて、グループホーム（各4人入居）を市内5か所に点在した住宅地内に民家を借り受けて運営しています。それぞれの自治会に加入し自治会活動も参加するなど自治会員からも喜ばれています。地域の方との交流やふれあいができ、更には障がい者への正しい理解も得ることができグループホームとしての効果が発揮できているところです。30年の実績を持つ施設として更に利用者のために維持向上を目指したいと思います。

やまなみ福祉会　理事長　佐々木成二

当院からのメッセージ

やまなみ福祉会さんは、スタッフの皆さんが、利用者の病気や生活のしづらさを理解することに熱心で、個々の能力に合わせて専門的な対応をしてくれます。心の悩みを抱えている方の気持ちに常に寄り添い、優しく愛情深く関わってくださる為、利用者は安心して生き生き楽しそうに通っています。働くこと、住まい等、精神障害者にとって、様々なサポートを提案してくれる、心強い存在です。

【加藤病院　地域医療連携部】

加藤一郎理事長・院長が大分県功労者表彰を受賞

令和３年度の大分県功労者表彰（大分県知事表彰）が、１１月３日（文化の日）大分レンブラントホテルで開催されました。

社会福祉保健部門で、加藤一郎理事長・院長が、受賞し、表彰状が授与されました。

令和3年　大分県功労者表彰式　令和3年11月3日